

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（傾向と対策）

加古川市立東神吉南小学校

1. 各調査の結果と分析（本校の課題）

○国語

全体的な正答率は全国平均とほぼ同程度であるが、「文章の種類とその特徴について理解する」問題や、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」問題において課題が見られた。また、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書く」問題についても、全国等と同様に課題が見られた。

【国語の課題解決のために】

- ・話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理する力の定着を図る。
- ・根拠を明確にして自分の考えを表現する思考力・判断力・表現力の育成に向けた取組を進める。
- ・与えられた情報を取捨選択し、必要な内容を用いて自らの考えを表現する力の育成を図る。

○算数

全体的な正答率は全国平均と比べやや高いものの、「台形や正三角形の意味や性質を理解して解く」問題や「百分率で表された割合を用いた」問題に課題が見られた。

【算数の課題解決のために】

- ・図形の意味や性質を基に考えたことを説明する学習の充実により、図形の本質理解を図る。
- ・日常において用いられる割合など、生活とつながった課題を設定するとともに、図表等と関連づけて表現していくことにより、百分率で表された割合の理解を深める。

2. 児童質問紙に見られる本校6年生の特徴

※全児童の特徴でなく、そのような特徴を持つ児童が比較的多いということです

- 9割以上の児童が「人が困っているとき進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」と答えるなど友だちを大切にしようという意識が高く、「学校に行くのが楽しい」と答えた児童も9割を超えている。
- 多くの児童が地域行事に参加している。地域や社会への関心も、全国平均より上回っている。
- コンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童が多く、学校での学習でも活用できている。
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することに苦手感をもっている児童はいるが、話し合い活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることはできていると感じている。

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と9割を超える児童が回答しており、全国平均を上回っている。
 - 「自分には良いところがあると思いますか。」という質問に対して肯定的な回答をした児童が全国平均を上回っており、自己肯定感を高くもっている。
 - 将来の夢や目標を持っている児童は全国平均を上回っており、また家庭学習の時間や計画を立てて勉強する項目も全国平均を上回っている。
 - 「国語の勉強は好きだ」という児童は全国平均と同程度であるものの、「書いた文章の意見を学級の友達と伝え合い、自分のよいところ見つけている」と回答した児童は平均を上回っている。
- ▲生活の規則正しさ（早起き・朝ごはん）はおおむね良好であったが、就寝時刻についてはいつも同じ時刻とは言えないと答える児童が3割程度見られた。
 - ▲「算数の勉強が好きだ」と答えた児童が全国平均と比較して多いものの、「算数の勉強は大切だと思う」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う」と回答した児童は、全国平均を下回っている。
 - ▲全く読書をしないという児童が2割程度いる。また、読書が好きと答えた児童の割合は全国平均を大きく下回っている。

3. 改善への取組

- 自分の考えをまとめ、級友と意見交換し、さらに自分の考えを深めていく『協同的探究学習』の手法に沿った授業改善を引き続き推進する。
 - ・多様な考えが可能な問題提示を行い、学習を深める工夫をする。
 - ・他者の意見との共通点や相違点を意識し、そこから物事の本質や新たな価値観を見出すことができるよう話し合いを充実させる。
 - ・自分の考えを、思考の過程や根拠を示しながらわかりやすく表現するよう指導する。
- 学びと生活がリンクするよう課題設定を工夫し、学ぶことの意図を意識できるよう指導する。
- 読む力・書く力・話す力を鍛えるため、授業において自分の考えを発表したり、記述したりする機会をより多く確保し、相手に伝わるよう、わかりやすく、構成を工夫して表現することを指導する。
- ピアサポートや協同学習などの手法を取り入れ、自己肯定感をいっそう高めていくようにする。
- 特別の教科道徳を中心にすべての教育活動において、「いじめは絶対に許さない」意識を一層育むとともに、自他を尊重し、命を大切にしようとする心情（道徳性）を養う。
- 一人一台端末や大型提示装置等 ICT を活用した授業を行い、情報活用能力の習得や自分に合う学び方で学べる機会を増やす。
- 学習計画を立てて実行していくことの大切さを伝え、計画的・主体的に学ぶ習慣を定着させる。